

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

環境・体制整備

利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

はい | 利用者が快適に過ごせるスペースを確保できる利用定員となっている。

職員の配置数は適切であるか

はい | 十分に利用者に配慮できる人数配置をしている。

事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい | スロープや手すり等を設置している。

業務改善

業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

どちらでもない | 常勤と非常勤で認識の差があり、申し送り等で広く職員が参画している。

保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

はい | 保護者向け評価表を活用している。

この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

はい | ホームページにて公開している。

第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

どちらでもない | 今後外部評価を必要に応じて検討していく。

職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

はい | 定期的に事業所にて研修を行っている。

適切な支援の提供

アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

はい

必要に応じて保護者様との面談を設けている。日々の学校や保護者のお話を元に作成している。

子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

はい

アセスメントツールは使用せず、ケース記録等を見ながら支援方法を検討している。

活動プログラムの立案をチームで行っているか

はい

全体で活動プログラムの立案を行っている。

活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

どちらでもない

職員間で、活動に関する知識の共有を行っている。

平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

はい

支援時間の長さを鑑みて、活動等を調節している。

子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

はい

個別活動を集団活動を組み合わせている。

支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

はい

支援開始前にミーティングを行っている。

支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

どちらでもない

全員参加は困難なため、次回の支援までに共有している。

日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

はい

毎日、支援に関する記録を取り、支援の反省を翌日に行っている。

定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

はい

半年に一度、モニタリングを行っている。

ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか

はい

総則に則り、支援を行っている。

関係機関や保護者との連携

障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

はい | 担当者会議に出席する者を、職員間で話し合い、決めている。

学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

どちらでもない | 1～2ヶ月に1度、学校で会議を行い学校との情報共有をしている。

医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

どちらでもない | 現在、医療的ケアの必要な児童がいない。

就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

どちらでもない | 定期的に訪問し、利用者様の様子を共有している。

学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

どちらでもない | 能動的な情報提供は行っていないが、必要に応じて提供したい。

児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

はい | 学校に依頼し、講義をしていただいた。

放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

どちらでもない | 公園の散歩時などで交流はあるが、計画的な機会の提供はない。

（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか

どちらでもない | 協議会等への参加は行っていない。

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

はい | 帰りの送迎の際の申し送り、連絡帳を用いて子どもの状況を伝えている。

保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

どちらでもない | ペアレント・トレーニングは行っていない。

保護者等への説明責任等

運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

はい | 利用開始前に説明を行っている。

保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

はい | 専門性を有する職員が、助言を行っている。

父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

どちらでもない | 保護者会を必要としない意見があり、現在は実施していない。

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい | 苦情があった場合は迅速に周知し、改善策を考えている。

定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

はい | 年に4回会報を発行している。今後は発行の回数を増やしていく。

個人情報に十分注意しているか

はい | 個人情報が載っている用紙はシュレッダーを用いて破棄している。

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

はい | 研修やミーティングで、職員間にサインの周知等を行っている。

事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

どちらでもない | 地域の行事への参加を積極的にしている。

非常時の対応

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

どちらでもない | 保護者への周知が徹底されていない。

非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

はい | 避難訓練を実施している。

虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

はい | ミーティングで、虐待の定義などの周知を行っている。

どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

はい | 保護者に十分な説明を行っている。

食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

どちらでもない | 医師の指示書はないが、保護者からのヒアリングで対応している。

ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

はい | ヒヤリハットがあった際は迅速に書類を作成し、共有している。